

2025年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	2026年1月6日（火）13時45分～14時05分
出席者	市長、副市長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、地域協働局長、地域協働局副局長、地域協働局地域協働課長、地域協働局地域協働課課長（地域共生担当）、行財政局長、行財政局副局長、行財政局財務課長、教育委員会事務局学びの推進課課長（政策担当）
議題	外国人と地域の共生
提案概要	<p>○外国人住民の増加が続く中（2024年11月末：59,104人、2025年11月末64,099人）、地域住民の不安が高まっている現状がある。地域の分断を防ぐためには、①日本語教育の体制づくり、②相互理解と共助の促進など、外国人との共生に取り組む必要がある。</p> <p>① 日本語教育の体制づくり</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none">・高校生世代の日本語指導が必要な生徒等が社会的に自立するための日本語教育体制が不足している。・外国人住民が地域住民とコミュニケーションを行うためには、日本語教育が不可欠であるが、地域により日本語を学ぶ場が不足している。 <p><提案></p> <ul style="list-style-type: none">・学校現場の負担軽減と社会の安定化に向けた、高校生世代の日本語教室の拡充。・地域の特性に応じた新規日本語教室の立ち上げの支援。 <p>② 相互理解と共助の促進</p> <p><課題></p> <p>2025年のネットモニターアンケートにおいて、以下の結果が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none">・外国人が増えることを好ましくないと感じている人が、昨年より10%増加している。・外国人が増えることを好ましくないと答えている理由は、「地域の治安に与える影響の懸念」や「文化、習慣の違いや言葉の壁によるトラブル増加への懸念」など、不安感によるもの。

	<ul style="list-style-type: none">・生活ルール（ごみの捨て方、騒音等）に関する意見が特に多かった。 <p><提案></p> <ul style="list-style-type: none">・外国人に生活ルールの情報が浸透する仕組みづくりとして、外国料理店等による生活オリエンテーションツアーの実施。・地域住民の不安に向き合い、地域と外国人の橋渡しとなる「地域共生サポーター」の配置。
会議結果 (主な意見等を含む)	<p>全体の方向性は了。</p> <p>○次年度の実施、検討にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <ul style="list-style-type: none">・国の方針を注視しながら進めること。